

つつが虫病に気をつけよう！

【つつが虫病とは】

つつが虫病は、秋から冬にかけて、特に 10月～12月 に多く発生します。また、平成24年の大分県内のつつが虫病の発症は12例で、このうち 9例が豊肥地域からの発生 でした。これからの季節は狩猟、キノコ狩り、山菜採りなどで草むらや山の中に入る機会が多くなりますので、注意が必要です。

つつが虫病は、病原体を持ったつつが虫の幼虫に刺されることによって起こる病気です。つつが虫の幼虫は10月～12月に活発に活動し、草むらや山に生息しています。幼虫の時期に一度、野ねずみなどの温血動物に吸着する性質があります。そのためヒトを刺すこともあり、刺したつつが虫が病原体を持っていれば発症します。

【症状】

発熱・刺し口・発疹

体がだるい・頭痛・寒気・食欲低下・吐き気・げり

三大症状！

【予防法】

- ・肌を露出しない（適した服装は写真を参考にしてください）
- ・地面に座ったり、寝転んだりしない
- ・帰ったらすぐにお風呂に入る
- ・着ていた服はすぐに洗濯する

【刺されたときは】

- ・症状があるときはすぐに病院に行く
- ・山や草むらなどで作業したことを医師に伝える
- ・つつが虫は自分で無理に取らず病院でとってもらう



早く治療を受ければすぐによくなります。

しかし、放っておくとひどくなり

命に関わることもあります！！

